

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年2月6日(2020.2.6)

【公開番号】特開2019-213704(P2019-213704A)

【公開日】令和1年12月19日(2019.12.19)

【年通号数】公開・登録公報2019-051

【出願番号】特願2018-112661(P2018-112661)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和1年12月10日(2019.12.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を行うことが可能であり、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

前記有利状態に制御されることを示唆する複数種類の示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段と、

前記複数種類の示唆演出のうちのいずれかの示唆演出が実行される場合、当該示唆演出が実行されるまでの所定期間を報知する報知演出を実行可能な報知演出実行手段と、を備え、

前記報知演出において前記所定期間を報知した後、当該所定期間が経過するよりも前に当該所定期間の報知を認識不能とし、

さらに、

遊技媒体が特定領域を通過したことに基づいて、設定値に応じた特定制御を実行可能な特定制御手段と、

前記設定値を変更可能な設定変更モードに制御可能な設定変更モード制御手段と、  
を備え、

前記設定変更モードに制御されているときは、遊技媒体が前記特定領域を通過しても前記特定制御が実行されない

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

(手段1)本発明による遊技機は、遊技を行うことが可能であり、遊技者にとって有利な有利状態(例えば、大当たり遊技状態)に制御可能な遊技機であって、有利状態に制御されることを示唆する複数種類の示唆演出(例えば、予告演出A～C)を実行可能な示唆演出実行手段(例えば、演出制御用CPU120におけるステップ105IWS216を実行する部分)と、複数種類の示唆演出のうちのいずれかの示唆演出が実行される場合、当該

示唆演出が実行されるまでの所定期間（例えば、「10秒」、「20秒」、「30秒」）を報知する報知演出（例えば、図20-13（B）に示す報知表示105IW003の表示）を実行可能な報知演出実行手段（例えば、演出制御用CPU120におけるステップ105IWS207を実行する部分）と、を備え、報知演出において所定期間を報知した後、当該所定期間が経過するよりも前に当該所定期間の報知を認識不能とし（例えば、演出制御用CPU120におけるステップ105IWS210を実行する部分）、さらに、遊技媒体が特定領域を通過したことに基づいて、設定値に応じた特定制御を実行可能な特定制御手段と、設定値を変更可能な設定変更モードに制御可能な設定変更モード制御手段と、を備え、設定変更モードに制御されているときは、遊技媒体が特定領域を通過しても特定制御が実行されないことを特徴とする。そのような構成によれば、報知演出を実行する場合の演出効果を高めることができる。